

## 社会科（地図）調査資料 作成の観点

書名 項目	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span style="font-size: 2em;">○○○○</span> <span style="font-size: 2em;">○○○○○</span> </div>	発行者番号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">発行者名</div>
内 容	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解できるようにするため、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○地図の読図や作図、景観写真の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようにするために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会的事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察したり、諸課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力を養うために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地図や統計などに平素から親しみ、課題の追究・解決のための教材として効果的に活用する意欲を育むために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○多様な視点に着目し、課題を追究したり解決したりする活動が展開できるようにするために、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>○作業的・体験的な学習を促すために、どのような工夫が見られるか。</li> <li>○資料を活用しやすいように、検索にどのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
表記・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習効果を高めるために、表記・表現にどのような工夫が見られるか。</li> <li>○読み取りやすいように地図中の地名表記や彩色・配色、土地利用や等高線などに、どのような工夫が見られるか。</li> </ul>	
総 括	（全体的な特徴、その他）	

<p>書名 項目</p>	<h1>新しい社会 地図</h1>	<p>2 東 書</p>
<p>内 容</p>	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>          ○地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を「基本資料」という形で設けることで、基礎的・基本的な知識を習得しやすいように工夫されている。          ○地域の特徴的な事象を「注目したい記号」という形で示すことで、地図の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようになっている。</p> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>          ○地理的分野の諸地域学習での課題解決的な学習に活用できる資料が、多数取り上げられている。          ○要所にキャラクターのふきだしを入れることによって、「社会的な見方・考え方」の視点をもたせ、思考をより深められるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>          ○地図に親しみをもち、活用しやすくするために、鳥瞰表現の地図を掲載したり、地域の特産物をイラストで表したりすることで視覚的に読み取れるように工夫されている。</p> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b>          ○世界の各州や日本の各地方ごとに、教科書にはない補充資料を掲載したり、関連する地図や資料を閲覧できるように、デジタルコンテンツに接続するための「二次元コード」を掲載したりするなど、主体的に学習がすすめられるように工夫されている。</p>	
<p>資 料</p>	<p>○地理の教科書との連携を強化し、人口ピラミッドの作成や地形図の読み取りなどの学習に必要な資料が掲載されている。          ○世界、日本、統計、さくいんでインデックスを大きく色分けし、さらに世界は州、日本は地方ごとに細かく色分けされている。          ○世界の各州や日本の各地方に関連する地図や資料を閲覧できるデジタルコンテンツに接続するための二次元コードを掲載している。</p>	
<p>表記・表現</p>	<p>○基本図は等高段彩表現にレリーフ（陰影）表現を合わせた立体感のある地図表現であり、文字も読みやすいUDフォント（ゴシック体）を使用している。          ○基本図で示した地域を位置図で示している。          ○折り込みページを設け、地図記号を確認しやすくしたり、巻頭で地図の見方を示すとともに、資料の見方や他分野での活用方法を掲載するなど、地図が使いやすくなるように工夫されている。          ○歴史的分野や公民的分野に関連するページを設け、分野の枠を超えた「社会的な見方・考え方」をもとに、学習テーマを深められるように工夫されている。</p>	
<p>総 括</p>	<p>○世界の各州を同一縮尺の3枚の地図（P29、P61、P67）で表し、地球儀の代わりに使用できるように工夫されている。          ○防災に関する地図や資料が掲載され、防災への意識が高められる一方で、防災をテーマとした学習を深められるようになっている。          ○歴史的分野や公民的分野に関連するページを増やして、3年間の社会科の学習全体で活用できるように工夫されている。          ○写真やグラフ等、地図以外の資料を充実させるとともに、巻末に資料索引を設けるなど、資料を活用した学習が主体的にすすめられるように工夫されている。</p>	

<p>書名</p> <p>項目</p>	<h1>中学校社会科地図</h1>	<p>4 6</p> <p>帝 国</p>
<p>内 容</p>	<p><b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○土地の高さによる色分けと、土地の使われ方による色分けを併用することで、地域的特色がつかみやすいように工夫されている。</li> <li>○要所に配された問い「地図活用」から、地図の読み取りなどの地理的技能を身に付けられるようになっている。</li> </ul> <p><b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○比較を通して地域の特色が考察できるように、自然や人口などの主要素をまとめた資料図は、縮尺が統一されている。</li> <li>○「社会的な見方・考え方」の視点に着目して、問い「地図活用」を要所に配置することで、思考をより深められるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地図に親しみを持ち活用しやすくするために、世界の各州の鳥瞰表現の地図を掲載したり、特産物をイラストで表したりするなど、視覚的に読み取れるように工夫されている。</li> </ul> <p><b>&lt;課題を追究・解決する活動の充実を図るための工夫&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○世界の各州や日本の各地方ごとに、多くの資料図を同一縮尺で掲載したり、関連する動画を閲覧したりできるように、デジタルコンテンツに接続するための「二次元コード」を掲載するなど、主体的に学習がすすめられるように工夫されている。</li> </ul>	
<p>資 料</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーが設けられている。</li> <li>○左上にタイトル、左右上にページ番号、右端にインデックスが配置され、レイアウトの統一（構造化）がなされている。</li> <li>○世界の各州や日本の各地方ごとに、主体的な学びを助ける様々なコンテンツに接続するための二次元コードを掲載している。</li> </ul>	
<p>表記・表現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本図は等高段彩表現にレリーフ（陰影）表現を合わせた立体感のある地図表現であり、文字も読みやすいUDフォント（丸ゴシック体）を使用している。</li> <li>○基本図で示した地域を位置図で示し、同緯度・同縮尺の日本を示している。</li> <li>○折り込みページを設けて地図記号を確認しやすくしたり、巻頭の「地図帳の使い方」に多くのページを割いて、内容を丁寧に解説するなど、地図が読みやすくなるように工夫されている。</li> <li>○基本図や資料図に「地図活用」を示し、読図等の技能が身に付くだけでなく、「社会的な見方・考え方」を働かせた課題解決的な学習につながるように工夫されている。</li> </ul>	
<p>総 括</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大判化されたことで地図をより広域に表せるようになり、他州や他地方とのつながりを捉えやすくなっている。</li> <li>○防災に関する地図や資料が掲載され、防災への意識が高められる一方で、防災をテーマとした学習を深められるようになっている。</li> <li>○五街道を表す鳥瞰図を示したり、日本の統計資料に少子高齢化を表す項目を設けるなど、歴史的分野や公民的分野でも活用できるように工夫されている。</li> <li>○多くのページに設けられた「地図活用」の「問い」を追究することで、「社会的な見方・考え方」が身に付けられるようになっている。</li> </ul>	

社会科（地図） 調査資料 2

○内容別ページ数・地図数

内容	ページ数		写真の数		基本図の数		部分図の数		資料図の数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
地域構成（世界）	3	3	0	0	1	1	1	1	3	5
地域構成（日本）	3	5	0	3	2	2	1	9	0	0

【世界の様々な地域】

内容	ページ数		写真の数		基本図の数		部分図の数		資料図の数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
世界各地の人々の生活と環境	20	10	76	66	1	1	0	0	33	13
アジア	20	23	44	35	5	6	3	5	27	44
ヨーロッパ	12	11	10	10	3	3	0	0	19	26
アフリカ	5	4	3	3	1	1	1	0	10	11
北アメリカ	9	8	8	4	2	2	2	1	15	18
南アメリカ	4	5	2	5	2	2	0	0	9	11
オセアニア	6	4	0	3	2	1	0	3	11	7
その他	0	3	0	1	0	2	0	4	0	1

【日本の様々な地域】

内容	ページ数		写真の数		基本図の数		部分図の数		資料図の数	
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
九州地方	9	7	11	0	2	2	14	6	12	15
中国地方	4	4	1	1	3	3	2	2	9	11
四国地方	4	4	1	0	3	3	0	0	8	10
近畿地方	8	10	4	2	2	2	5	4	5	17
中部地方	8	12	1	8	3	5	1	2	13	18
関東地方	12	12	20	7	3	3	5	3	18	23
東北地方	5	5	10	0	1	1	1	2	6	14
北海道地方	9	9	2	0	3	3	3	3	9	13

【日本の地域的特色と地域区分】

内容	ページ数		写真の数			
	東書	帝国	東書	帝国	東書	帝国
自然環境	6	6	19	13		
人口	2	2	0	1		
資源・エネルギーと産業	6	6	11	4		
交通・通信	4	2	4	0		
生活・文化等	1	4	14	35		
世界の統計表	5.5	5	統計表の項目数		11	11
日本の統計表	4.5	4	統計表の項目数		9	9
索引	11	12	※総ページ数には中表紙等も含まれるため合計と一致しない。			
総ページ数	192	188	※総ページ数は目録に記載されたページ数			

【日本の諸地域の考察の仕方に関する資料数】

内容	資料数		
	東書	帝国	
自然環境	17	18	※「一般図」のうち、1ページ以上のサイズのものを「基本図」とし、それ未満のものを「部分図」とした。
人口や都市・村落	8	9	※「鳥瞰図」と資料図をまとめて「資料図」とした。
産業	19	24	※ 統計については、表題のあるものを数えた。
交通や通信	12	7	
その他の事象	2	11	